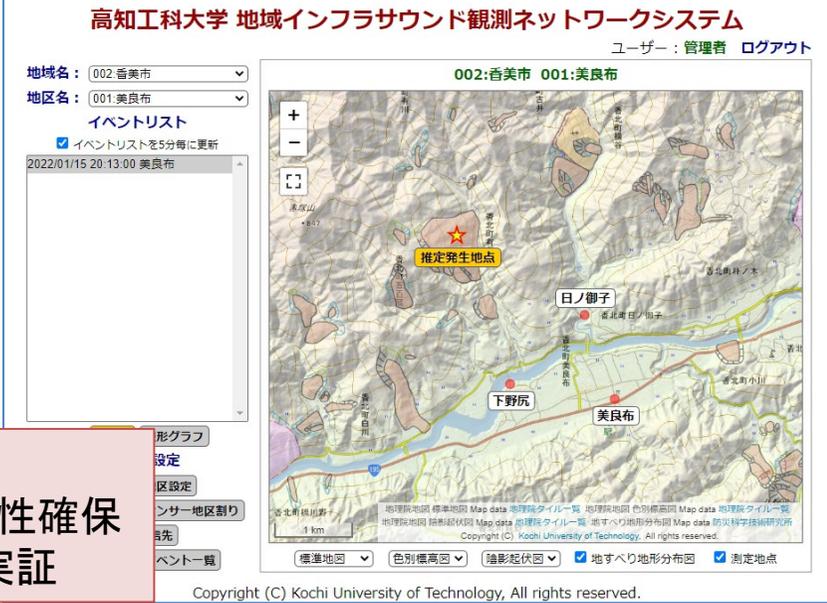
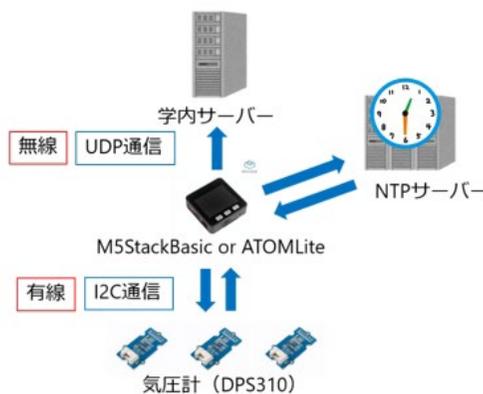
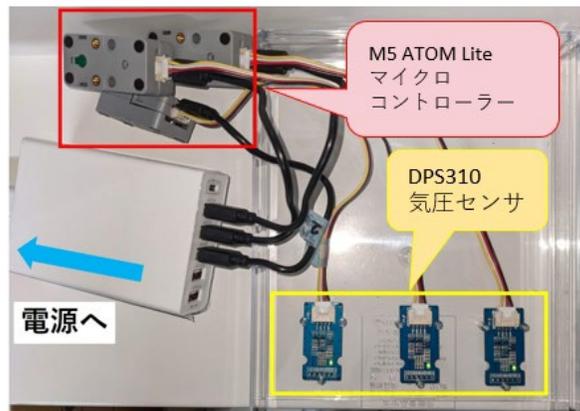


データ利活用等のデジタル化の推進による社会課題・地域課題解決のための実証型研究開発

地域防災のための多地点微小気圧変動計測パッケージの標準化と都市近郊・中山間部における市民協力型実証実験

研究概要：微小気圧変動を面的に稠密観測できる市民協力型の計測パッケージと局所データを計測・中継する計測網を開発しつつ、ステークホルダーである地域住民や地方自治体等と連携して地域災害情報を効果的に集約・アラートする可視化実証実験を行い、近い将来の微小気圧変動稠密観測網の全国配備へ向けた礎（ビジネスモデル）を築く。本課題では土砂災害等の地域防災課題の解決法の1つとして、粗密2種類のメッシュ型計測網により防災マップ上に微小気圧変動の発生域をマッピングできる程度の高空間分解能での待ち受け観測をモデル地域において構築し1年間程度の実証実験を行う。



- 1 微小気圧変動稠密観測網の確立と災害検知実証実験
- 2 計測標準を用いた評価による低コスト圧力センサの計測信頼性確保
- 3 災害情報ニーズ探索を踏まえた危険度可視化ツール開発と実証

【研究開発期間】 令和4年度から令和6年度まで

【受託者】 高知県公立大学法人高知工科大学（代表研究者）、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国立大学法人九州大学、学校法人電子開発学園